

第3回義務教育学校教育課程検討委員会【会議要旨】

1. 開催日時 令和3年9月22日 19時～20時30分
2. 開催場所 山村開発センター大集会室
3. 参加者 委員11名（欠席2名（山田二委員、山田亜委員）） 事務局2名
4. 報告
(1) 第2回義務教育学校教育課程検討委員会議事要旨（資料配布）
5. 協議
(1) 「社会に開かれた教育課程」の実現のために
 - ・1つの学校となるので、両方の地域に出かけて行き、それぞれの地域にある施設を上手に使う。そして、地域の人と交流する。
 - ・学校は敷居が高い。まず知ってもらって地域とつながりをもつこと。学校に来ていただく、HPで公開する、チャンネルひので流す、お便りで知らせる・・・
 - ・学校運営協議会が中学校区で1つなので、距離感がある。
 - ・「学校から頼まれたら行く」から進んでいない。例えば、ボランティアが集える場を校内に作るなどして、スムーズに学校に行けるようにする。
 - ・「学校に行かざるを得ない状況」をあえてつくる。例えば、学校関係者がいない会議でも、学校を会場に行うとか。→学校に公民館機能をもたせる。
 - ・視察に行った鳥取市の学校は、地域の人が自由に出入りできる雰囲気があった。
 - ・ボランティアの方々に、学習以外でもきていただく。子どもたちにとって身近な存在になるのでは。
 - ・チャンネルひので情報が流されているが、学校の活動が地域に知れ渡っているのだろうか。
 - ・学校では、チャンネルひでの反応は分からない。HPを見ていただいている件数は、一昨年1日60～70件だったのが、今は、160～180件。卒業生等も見ていると思われるので、年々増加している。
 - ・チャンネルひのについて、直接のフィードバックはない。HPは1学期に17,000アクセス、以前に比べれば増えている。
 - ・広報媒体としてチャンネルひのはよい。どれだけ情報を出していくか。

- ・情報を発信してほしい。同じ中学校区でも、別の学校のことは分からないので、チャンネルひのなどで情報を得ている。保護者としては、いろいろなツールで発信してもらえるのはありがたい。
- ・チャンネルひのを見た人とか、町で出会うと声をかけてもらっているのでは？
- ・学校に来てくださいと言われても、何の目的でいこうかな？となる。子どもが地域の人を招く、子どもから発信することで地域とつながるのがよい。
- ・公民館のおしゃべりカフェは、黒坂小の児童が発表する日には、お互いに声掛けあって来られる人が増える。地域同士のつながりの中で、子どもたちが育てられる。
- ・おしゃべりカフェやわすれんぼカフェなど、学校の中にあってもよい。自然と学校に入るようになると・・・
- ・顔がつながれば、防災にもつながる。
- ・機会を自然につくれれば。
- ・学校の位置が根雨になるので、黒坂地区には手立てを講じる必要がある。
- ・(地域学校協働活動について) 3校あってそれぞれから依頼をいただくが、フォーマットを統一したことである程度はスムーズにできているが、まだ差がある。コーディネーターが地域に出向いて顔を合わせる事が大事だと感じている。ボランティアやゲストティーチャーとの関わりが、そのときだけで終わるのはよくないと感じている。直接、担当の先生と地域の方が話をする事も必要。
- ・CSの情報発信をしている。フェイスブックを始めたり、広報ひのに定期的に載せたり。自分自身も学校の様子や子どもたちの様子を直接知り、協議会委員に発信するようにしている。
- ・子どもから発信するのは地域の人に響く。
- ・ふるさとキャリア教育では、ゲストティーチャーから願いなどを語っていただいている。

(2) 教科担任制について

- ・全教科を担当しながら、授業の準備を進めるのは大変。専門的なものや事前準備が必要なものは教科担任で。そうすることで、時間に余裕ができ安心して授業に臨むことができ、子どもにとってもメリットが大きい。

- ・中学校教員は、免許を持っている教科であれば、小学校でも授業をすることができる。
- ・子どもたちは、教科担任制に意外と慣れているのかもしれない。
- ・5年生くらいから専門的に・・・
- ・一人の子どもをいろいろな人が見るというのはよい。
- ・中学校になって教科担任制になるのは、子どもにとって負担が大きい。早い段階から経験できると、中1ギャップに対応できる。
- ・3、4年生では担任と教科の先生とのTTとか。
- ・低学年は必要か？
- ・低、中は全体を見る視点が必要。高学年から教科担任制となると、生徒指導面でも効果があるのでは。
- ・小学校教員と中学校教員とのバランスを考えないといけない。
- ・5、6年から入れるのがベターか。何教科入れるかは考えないといけない。

6. その他

(1) 検討委員会開催予定

- ・学校行事の検討には「学年の区切り」が関わってくるので、一緒に議論した方がよい。
- ・学校行事や異学年交流について捉えがそれぞれだと思うので、事前に話し合いの視点を示してほしい。

(2) 次回委員会

- ・11月25日(木) 19時 会場：研修室